



世界へのプレゼントになろう

高岡ロータリークラブ

2016/5/12

会長/本間比呂詩 幹事/鞍野誠

Be a gift to the world

No.37

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951(S.26)/11/15 チャーターN：1952(S.27)/4/15 創立順位：No.68

司会 塩崎(吉) 会場監督 点鐘 本間 会長

ロータリーソング

会長挨拶/報告

■誕生祝 塩崎吉康君 [5/16・53才]

■皆出席表彰

花田修一君 [20年] 西村博邦君 [20年]

幹事報告 5月のロータリーレート 1\$=110円

■配布/ロータリーの友、ガバナー月信 各5月号

■熊本地震義援金協力のお知らせ

委員会報告

■雑誌…ロータリーの友5月号紹介

ニコニコBOX < 13件 55,000円 >

本間会長/本日は会員卓話となっています。渡辺誠さん、楽しみにしております。後程お願いします。

三上君/4/23 利長公シンポジウムIIを開催し、たくさんの方にきて頂き、無事に終わることができました。

また、多数の方のご協力有難うございました。

前川君/5/1 のテーブルミーティングで塩崎(吉)さん宅から御車山祭りを拝見する機会をいただきました。塩崎さんと山口君に感謝。

山本(毅)君/久々の例会です。連休は皆様いかがお過ごしでしたか?我が家は息子が帰省して楽しく過ごしました。

鞍野君/4/29~5/3 にかけて奈良県吉野と和歌山県熊野を結ぶ大峯奥駈道に行って参りました。この道は120kmに及ぶ山岳道で、標高1,200m~1,900mの山々が連なる大峰山脈の主稜線を歩く修験者の修行の道です。私は修行に行った訳ではなく、登山を楽しみに行ったつもりでしたが、5日間の食料と水、疲労等、厳しい体験で身体はボロボロになりましたが、精神は鍛えられたのではないかと考えています。5日間の中で色々トラブルはありましたが、同行してもらった竹中君にはお世話になり有難うございました。

塩崎(有)君/5月からの営業年度より社長より会長に、娘が跡継ぎで社長に就任登記を終えました。女社長で大変だろうと思いますが、皆さん宜しくお願いします。

石崎君/「国宝瑞龍寺2016春のライトアップと門前市」を無事終了致しました。今回の3日間の来場者は新幹線効果もあってか、過去5年で最多で、ライトアップの美しさに多くの人が感動されていました。又、熊本震災支援募金も約60万強も集まり、大変感謝しております。今回で25回目になります。これだけ続けてこられたのもロータリーメンバー及び多くの協賛団体、企業があってです。本当に感謝申し上げます。前回皆出席祝有難うございます。

河村君/いつの間にやら暖かいどころか 日中は暑いくらいの中で、私は相変わらず職業奉仕にいそしんで

おりますが、皆様もお変わりなくそれぞれのご奉仕に努めておられることと存じます。ともすれば自らを見失いがちになりそうな時、心と耳を澄ませば・・・どこにいても・・・きこえます!きこえます!きこえます!勇壮な太鼓の響き、軽快な笛の音、若者たちの雄叫び!・・・そう!今年も近付いてきました。伏木のケンカ山!今年は何んなドラマが待ち受けているか!皆様こそって5/15は伏木において下さい。お待ちしております。

(私は仕事が終わらずへろへろの状態ですが)

牧野君/この度の不正問題では皆様に大変迷惑とご心配をおかけしお詫び申し上げます。全社員で信頼回復に取り組んで参ります。10年前から推進してきました新車・中古車問わず全メーカーの販売をさらに強化してまいりますので、お声がけだけでもいただければ幸いです。

塩崎(吉)君/誕生日プレゼント有難うございます。又5/1御車山祭りに合わせてのテーブルミーティングに自宅に来て頂き有難うございました。

吉田(雅)君/妻の誕生日のお花有難うございました。

花田君、西村君/皆出席祝を頂きまして感謝。

本日のプログラム

色とトナーの話 渡辺 誠氏



80年ほど前にアメリカで発明され、今では誰もが使っているコピー機。そのコピーの「インク」として使われるトナーを長年開発、製造してきた経験から色の構成方法やトナーのお話をいたします。

カラーコピーでは、フルカラーを再現させるために、色料の3原色であるシアン、マゼンタ、イエローとブラックの4種のトナーを用います。この組み合わせとトナーの配置を絶妙にコントロールして、カラーコピーを写真レベルまで再現させています。画像を作るプロセスは、帯電→潜像形成→現像→転写→定着であり、光で書き込まれた目に見えない潜像へ、帯電したトナーが現像されたのち、紙へ転写され、最後はトナーを加熱、熔融させ紙に固定化されコピーが完成します。トナーの開発はより高画質に、より省エネを主に目指した開発が続けられています。

近年、TV、家電などのデジタル製品の製造は、中国、韓国勢に主役座を奪われてしまいましたが、トナーを含むコピー機には、アナログ技術が多数含まれているため、いまだに追従を許さず、依然日本勢が主役座を守っている領域となっています。しかしながら、最近急速に普及したスマートフォン、タブレットの影響で、コピー枚数は減少傾向にあり、マーケットは縮小しているのが現状です。